

学園都市大学古文書研究会

会報

創刊号

2013年5月31日発行

編集責任者 酒匂宏 田中桂子

発刊にあたって

中村和男

八王子いちよう塾は、今年九月で十年目に入ります。これまで「古文書を解説して崩し字を学ぶ」形式の講座が単発で実施されましたが、「崩し字を系統的に初歩から学ぶ」形式は、平成二三年九月からの小林正博先生による「書ければ読める古文書・基礎編」と「応用編」の講座が、いちよう塾では初めての事でした。受講希望者が多く、翌年度に第二回目講座が設定されたほどの人気でした。

昨年二月に一回目の「基礎編」修了者が同好会を發足したのが本会の誕生で、その後二回目の「基礎編」修了者さらに「応用編」からの入会者が増え、教室が満席になるほど会員が増えました。

今後は、広い分野の古文書を教材にしながら会員諸氏の能力向上を期し、この会が今後ますます発展する事を祈っています。

顧問あいさつ

小林正博

この一年は会にとつてまさに「拡大の年」となりました。一期生二十五名で結成し、後期には四十名を突破、さらに応用編からの五名の実力派が参入と、しばらくは会員募集を停止せざるを得ないほどの陣容が揃いました。

そこで本年は「拡充の年」になるかといふことを考えています。拡充の「拡」は会で解読した成果を外に向けて発信すること、「充」は会員個々の読読力アップを「充」たすグループ学習、全体学習の「充」実を図ることです。

会の名称もサークル的「八王子いちよう塾古文書の会」から学術的「学園都市大学古文書研究会」に格調高く衣替えしました。

それにふさわしく、ともどもに切磋琢磨しながら、研鑽と交流を深め、それぞれの生涯学習人生に爛漫と花開かせていさましよう。

祝4.27創立1周年記念行事

学びあい、語りあい充実の1日 大成功で無事終了

記念講演(八王子いちよう塾主催・公益財団法人東洋哲学研究所提供・学園都市大学古文書研究会協力)では古文書学の第一人者・元日本古文書学会会長の中尾堯先生による講演「中世古文書の世界—古文書学習は長寿の秘訣」が行われました。200名を越す方たちが参加、いちよう塾の文化系の公開講座としては久々の大ヒットとなりました。

引き続き第一回の**会員総会**が行われ、まず中村和男代表から活動報告、活動大綱、役員体制等の発表があり、続いて小林正博顧問よりあいさつ並びに来賓紹介がありました。来賓として地元八王子市の伊藤紀彦市民活動推進部長、栗山晴行学園都市振興課長より市民活動のモデルとして当会への期待のあいさつを頂き、最後に当会顧問の中尾堯先生からは心温まるお祝辞を頂戴しました。

終了後、各グループに分かれ自己紹介、ミニ懇談、記念撮影をし、その後会場を移動。11階のサロン・クレアで**懇親会**を行い、同学の仲間どうしの交流・懇談に花が咲き、楽しい一日となりました。

役員・スタッフのみなさま、またいちよう塾事務局の皆様、大変にありがとうございました。

お元気な中尾先生



八王子学園都市大学、いちよう塾
公開講座
中尾堯先生講演
「中世古文書の世界—古文書学習は長寿の秘訣」
午後1時開演

